

今月の五冊



**「あんちゃん」**  
 北原亜以子 (著) / 文藝春秋  
 俺あ、金だけの人間じゃないんだ。江戸の空の下で再会した兄と弟。炭屋の主人にまで上り詰め、金儲けに明け暮れた弟に、兄が振り上げたこぶしの真意とは？表題作ほか、人の絆と縁の妙を切り取る時代小説集。【中央・長岡】

**「利益相反」**  
 牛島信 (著) / 朝日新聞出版  
 不動産会社を創業し、上場企業まで成長させたオーナー社長。トンネル会社の不正を指摘され、社内に激震が走る。顧問弁護士と監査役の立場から父親を糾弾する息子の葛藤とは？企業法律小説。【中央】

図書館だより

\*【 】内は所蔵館名



**「消えた錬金術師」**  
 レンヌ・ル・シャトー (著) / エンジン・ルーム  
 スコット・マリアーニ (著) / エンジン・ルーム  
 死にかけている子どもを救うための手がかりは、伝説の錬金術師フルカネリの手稿。不老不死の秘密を追うベン・ホープの前に、歴史の闇と謎が現れる。【葦山】



**「なりひらの恋」**  
 在原平ものがたり (著) / PHP 研究所  
 三田誠広 (著) / PHP 研究所  
 「歌って何なのかな。ため息みたいなものですかね」美男子なのに後ろ向き、高貴の出なのにマイペース。「伊勢物語」伝説のプレイボーイを、軽く、楽しく描く恋物語。【葦山】

問合せ

【中央図書館】電話 0558 - 76 - 5566  
 毎週月曜日休館  
 【長岡図書館】電話 055 - 947 - 2364  
 毎週月曜日休館  
 【葦山図書館】電話 055 - 949 - 8605  
 毎週水曜日休館

各館の休館日は、月のカレンダー・ホームページなどをご覧ください。



おはなし会

中央図書館…8月14日(土) 11:00～  
 長岡図書館…8月19日(木) 14:30～  
 葦山図書館…8月14日・28日いずれも(土) 14:00～  
 対象/赤ちゃん～小学校低学年くらいまで(申し込み不要)。



**「ゴー・ゴー・ゴール！」**  
 さこんらんこ (文) / フレーベル社  
 サッカーすきでも、へたっぴい。ボールをけったら、へんなほうにとんでった。ネコはドリブル、さかなやさんはヘディング…どこまでいっちゃうの？【葦山】

文字や活字に親しもう！

2010 国民読書年



2010年は、国が定めた『国民読書年』。中央図書館ではこれを記念して2つのイベントを開催。ぜひお越しください。

おやこで楽しむ紙芝居大会

こわーいおはなし、いっぱい！

とき 8月22日(日) 午前11時～11時40分  
 ところ 中央図書館2階視聴覚室  
 内容 紙芝居の実演たのしくてこわーいおはなし  
 協力 上原佐恵子氏(しずおか紙芝居研究会主宰・伊豆おはなし連絡会代表他) おはなし研究会「ひこうせん」  
 申込み 申し込み不要。直接会場へお越しください。

大人のための語りを聴く会  
 ストーリーテリング・夏

とき 8月22日(日) 午後1時半～3時  
 ところ 中央図書館2階視聴覚室  
 内容 第1部 おはなし研究会「ひこうせん」  
 第2部 上原佐恵子氏「語りの世界」  
 協力 上原佐恵子氏(かたりーず(語りの会)代表・伊豆おはなし連絡会代表他) おはなし研究会「ひこうせん」  
 申込み 中央図書館カウンターまたは電話でお申し込みください。

スタッフ通信

6月に図書館の壁にツバメが巣を作り産卵し、成長した雛たちが夏の青空へ羽ばたいていきました。伊豆の国市を担う子どもたちも本との出会いの中で、自ら考え創造し、主体的に判断する力と人生の知恵を学び、成長して欲しいと願います。(葦山図書館 佐野)



現在の「塾ノ間」(江川邸内)



葦山塾塾法(部分) 江川家蔵



問合せ 社会教育課  
 電話 055 - 948 - 1461

文化財通信

その63 「葦山塾」塾生心得  
 ～江川坦庵の教え～

**幕** 末期の日本に大きな足跡を残した江川太郎左衛門英龍(坦庵)。その多方面にわたる業績の中でも、非常に大きな意味を持つているのが西洋砲術の導入と普及です。天保13年(1842年)、幕府から西洋砲術教授の許可を得た坦庵は、葦山屋敷内の一室を「塾ノ間」とし、入門を許された塾生(諸藩から派遣された藩士ら)に砲術を教え始めました。いわゆる「葦山塾」です。葦山塾は、単に西洋式銃砲の取り扱いを教えるだけのものではありません。稽古をつけ、また実地訓練を兼ねた山(天城や箱根などの山中に分け入

葦山塾での修行は、主家のみならず

国家のための大事である。

り、猪や鹿を狙撃する)では、塾生たちの先頭に立って野山を駆けていたことが、記録にも残っています。そんな坦庵の教えは、葦山塾の「塾法」にも表れています。十か条からなるこの塾法には、塾中での席次や、火の元気をつけることなど、当然の条文もありますが、何より重視されているのは、塾生本人の自覚です。例えば、「禁酒」を定めた条文の但し書きに、「ここでしている修行は、自分が仕える主家のみならず、国家のための大事である。禁戒すら守れぬような懶惰(怠けること)な心の方では済まない」とあります。単な

る技術の習得ではなく、志を高く持つて修行にあたるべきだと定められているのです。また、身の回りのことは可能な限り自分自身でやること、食事は粗食とし、土産物など無用の出費は避けること、わずかのことでもおろそかにせず、お互いに注意し、相談することなど、実用専務を旨とした坦庵らしい条文もあります。

この塾法は、今から160年余り前のものですが、21世紀を生きる私たちにとつても、教わることに多いものと言えるのではないのでしょうか。

文化協会  
 だより  
 53

市内の名所で投句しませんか

文化協会・学芸部では、市内4カ所に俳句の投句箱を設置し、管理しています。年に数回箱を開けて、選句します。作品の選句は、文化協会学芸部長と俳誌『鷹』同人・山岸文明氏が行います。

選句した俳句は短冊に書き写して、各施設に掲示しています。また、作品が掲示された投句者には、お手紙に写真を添えて送っています。

投句箱設置・作品掲示施設



江川邸



葦山反射炉



願成就院



蛭ヶ小島

投句について詳しく知りたい人は、大仁市民会館、あやめ会館、葦山改善センターにある文化協会だより『狩野のながれ』の学芸部だよりをご参照ください。